

令和6年度第2回 羽村市立武蔵野小学校コミュニティ・スクール委員会会議録

1 日 時	令和6年7月12日（金曜日）午後2時20分
2 場 所	羽村市立武蔵野小学校 全教室及び会議室
3 出席者	<p>会長 大橋 徳久（西東京リサイクルセンター 取締役） 校長 府金 博之</p> <p>副会長 山田 竜也（羽村市立武蔵野小学校 PTA 前会長）</p> <p>委員 松崎 博満（エコネットはむら 会長）</p> <p>山本 一代（チューリップ保育園 理事長）</p> <p>推進委員 松原 邦宜（(株)ミタカロジスティクス 取締役） (敬称略)</p>
4 欠席者	無し
5 議題	<p>(1) 放課後チャレンジ（放課後学習）の状況把握</p> <p>(2) 教職員が必要としている外部人財について</p> <p>(3) 武蔵野小コミュニティ・スクール委員会の進むべき方向性について意見交換及び協議</p>
6 傍聴者	無し
7 配布資料	・武蔵野小学校教職員が必要としている外部人財に関する声（資料A）
8 会議の内容	<p>(1) 放課後チャレンジ（放課後学習）の状況把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望して学習している子どもと、担任からの呼びかけに応じて学習している子どもが混在しているかたちだが、どの子どもも真面目に取り組もうとする姿が顕著である。 ・子どもと関わっていかうとすると、素直に返答をかえしてくる子どもがほとんどで、手助けしやすいと感じる。 ・子どもに接する人がもっと多ければ、手厚い補助活動が出来る状況である。 <p>(2) 教職員が必要としている外部人財について</p> <p>(3) 武蔵野小コミュニティ・スクール委員会の進むべき方向性について意見交換及び協議</p> <p>(2) 及び (3) の内容については以下の通り</p>

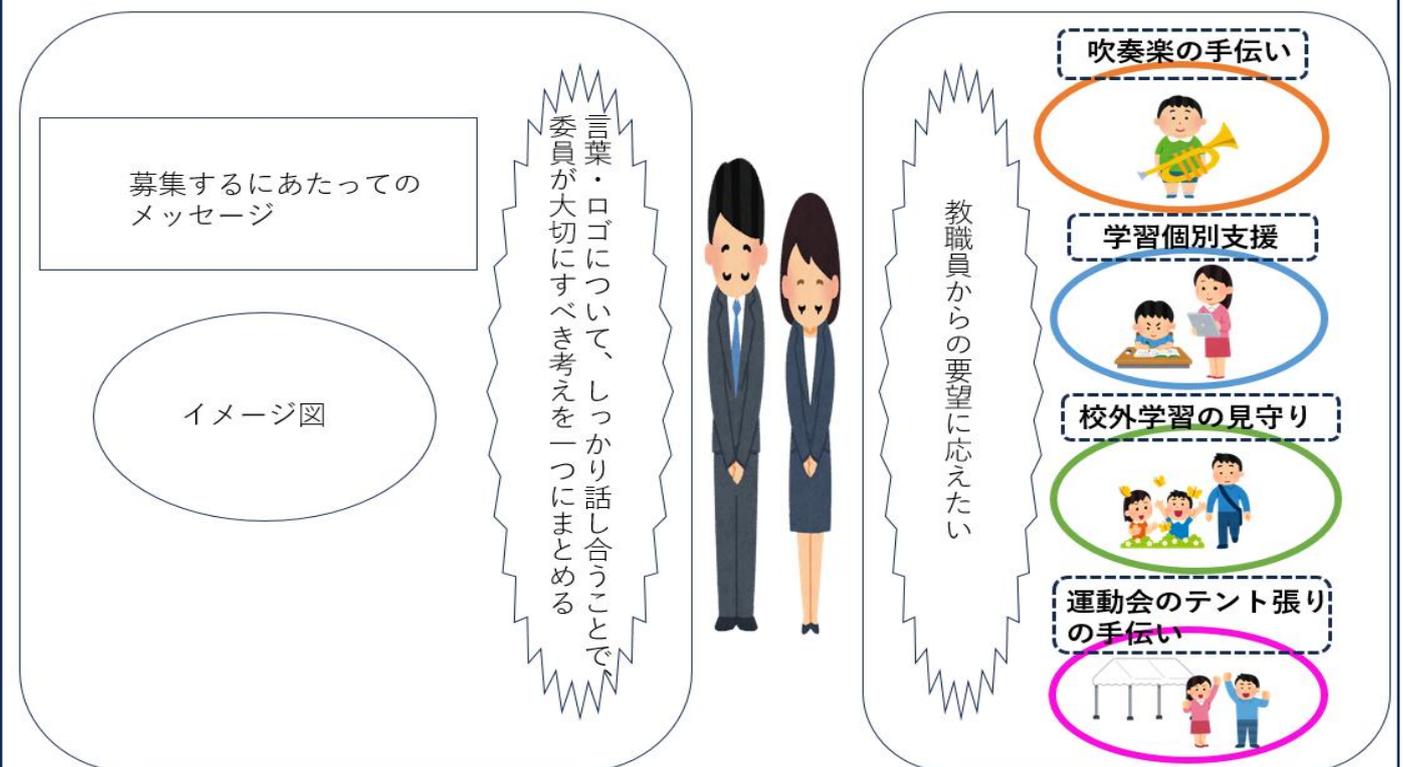
大切なポイント

- ・子どもの豊かな成長を常に念頭において話し合いを進める。
- ・教職員から寄せられた貴重な意見を大切にして、具体的な方向性を探っていく。

(協議の概要) 武蔵野小学校に協力したい気持ちを持っている人を大勢集め、教職員に過度な負担をかけずに、子どもの成長を手助けしていく体制づくりを目指していこう、という視点で話し合いを進めた。



《チラシを作成して、大勢の人にアピールしていきたい。》



次回のコミュニティ・スクール委員会開催に向けて



なるべく早い時期に会を開きたい。
早い段階でチラシ等を作成することで具体的に活動する時間を生むことができる。



委員が気持ちをひとつに活動を進めるためにも、具体的なチラシ資料をもとに「コンセプト」を確立していきたい。



- ◎ 第3回コミュニティ・スクール委員会では、チラシ原案を前に“より良いロゴ”“よりメッセージ性の強い言葉”を目指して話し合いを深めるようにしたい！

